

第十九回 全国印章技術大競技会公募規定

大競技会開催にあたって

社団法人全日本印章業協会では隔年に開催される全日本印章業組合連合会全国大会において技術の振興と印章の重要性の啓発活動のため、全国印章技術大競技会を主催しています。来年、平成二十四年九月十五日に第三十八回全国大会（中国）の開催に合わせ、第十九回全国印章技術大競技会の作品展示と賞状授与式を行います。

わが国の印章の歴史は大変長く、明治の印鑑登録制度の発足を経て、本人証明と意思の表記の役割を担う印章は、日本社会に無くてはならない存在です。昭和四十五年、印章彫刻技術は厚生労働省の検定職種となり、以来技術向上の目標として技能グランプリへの参加をはじめブロック及び県単位での競技会等技術振興を計ってきました。

しかし近年は競技会の出品点数は減少傾向にあり、技能検定制度の見直しに伴いその存続も心配される状況になっています。今回は部門の新設、出品料の見直し等、参加しやすい競技会を目指しました。全国の印章彫刻技術者の皆さまには、印章社会存続のため、彫刻技術研鑽のため、日頃の技術の成果を存分に発揮され、奮って多数ご参加いただけますようお願い申し上げます。

平成二十三年七月

(社)全日本印章業協会

会長 中島正一

共催 全日本印章業組合連合会

会長 山田静馬

賞状授与式 日時 平成二十四年九月十五日(土) 午後一時三十分

場所 岡山市北区浜「岡山プラザホテル」(鶴鳴の間)

作品展示 岡山駅地下街「岡山一番街、イルカの広場」(予定)

応募期間 平成二十四年三月二十一日より三月三十日〆切（郵送は当日消印まで）

審査発表 平成二十四年九月十五日 全日印連大会授賞式（全印協機関誌、現代印章及び全日印連のホームページでも入賞者発表）
（出品者には審査結果を五月下旬頃通知いたします）

課題

1部	木口密刻の部	柏葉壽	36ミリ角、柘駒丈(23.6ミリ)、書体自由
2部	木口角印の部	岡山後樂園延養亭名月観賞會	36ミリ角、柘駒丈(23.6ミリ)、書体自由 (圖案入り・二重枠は不可) 新漢字体でも可。新字体、旧字体の混合は不可。
3部	木口実印の部	毛利元就	15ミリ丸、柘駒丈(23.6ミリ)、書体自由 (圖案入り・二重枠は不可)
4部	彫刻ゴムの部	長生久視	60ミリ角以内 駒丈(23.6ミリ)台木付 書体自由
5部	彫刻ゴムの部	徳太郎鬼退治伝説 鬼ノ城復元整備事務所 岡山県総社市黒尾1101-2	70ミリ幅ヨコ判 駒丈(23.6ミリ)台木付 楷書 4部、5部のゴム印部門は規定寸法より前後左右5ミリ以上濼い部分を付ける事
6部	篆刻の部	萬古不變	75ミリ角以内、書体自由(印影のみ)
7部	判下の部	岡山県笠岡市横島一九四六一二 笠岡市立カブトガニ博物館 電話(〇八六五)六七二四七七番 岡山県笠岡市横島一九四六一二 笠岡市立カブトガニ博物館 電話(〇八六五)六七二四七七番	楷書 70ミリタテ書き 判下は二体一組 枠付雅印は隷書 雁皮紙以外も可
8部	刻字の部	好古	A、158ミリ×227ミリ(160ミリ×230ミリでも可) B、100ミリ×300ミリの何れかを選択。 板厚は20ミリ以上25ミリ以下とする。

印刷された課題通りの文字とする。作品は全て手彫りのこと。(課題と異なった作品は選外とする。)
判下の出展は必ず手書き現物であること、コピーは不可。◎駒丈とは活字の高さ(23.6ミリ)で、印材は有名印材問屋にお問い合わせ下さい。

- ◎出品物は展示終了後、記念印譜と共に送料着払いで返送します。
- ◎金賞以上の作品は二年間当会でお預りし後日返送します。
- ◎出品物は極力保護しますが止むを得ぬ事故の場合はその責を負いません。
- ◎出品物には必ず氏名をお書き添え下さい。
- ◎入賞作品の著作権は(社)全日本印章業協会が管理するものとします。

今回より8部刻字の部を新設致しました
縦・横自由。陽刻・陰刻のいずれも可。書体自由。
彫刻者の署名彫刻は可、その部分は隠して審査。
規格はAかBの何れかを選択。板材は随意。
A Bの規格寸法の桂材の取り寄せもします。
事務局までお問い合わせ下さい。

出品料

一点に付金六千円。他部門、同部門共一点増毎に金三千円。(例、木口実印、篆刻各一点で九千円)
(出品料は左記口座にお振り込み下さい。作品には同封しないこと。)

記念印譜

出品者には記念印譜一冊贈呈(何点出品しても一冊) 別途希望者には一冊金千五百円で販売。
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町二ノ四

搬入場所及
印譜申込所

(社)全日本印章業協会全国印章技術大競技会事務局

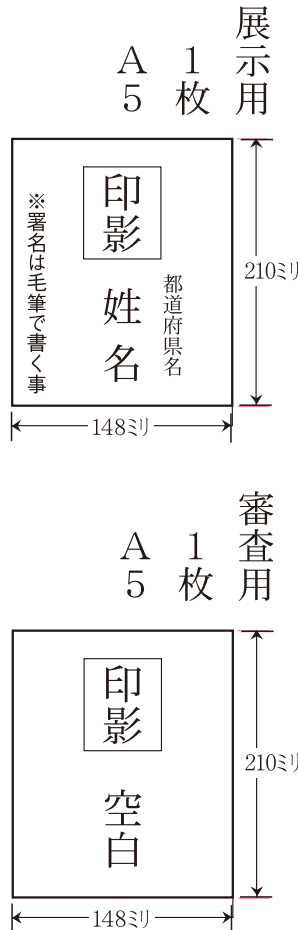
電話〇三―三二六一―一〇一五 「応募作品」と表示の上書留便のこと

振込先

郵便局 神田南神保町郵便局 全国印章技術大競技会

口座番号 普通0018018018179865

応募作品
印影様式



A5(二一〇ミリ×一四八ミリ)の台紙(白紙)に
展示用一枚、審査用一枚計二枚提出のこと。
判下は同大の厚紙に二体を一組として貼付し、
都道府県名及び姓名を記入の上二枚提出のこと。
審査用は捺印紙、台紙とも白紙のこと、色紙を使用
した場合は減点、あるいは無効とします。
各部共通で一枚、住所、氏名、電話、FAXを
記入した出品票を必ずつけて下さい。

賞

- 経済産業大臣賞 一名(申請中)
- 厚生労働大臣賞 一名(申請中)
- 文部科学大臣賞 一名(申請中)
- 世界遺産賀茂御祖神社(下鴨神社)宮司賞 一名
- 金賞・岡山県知事賞 一名
- 金賞・中央職業能力開発協会会長賞 一名
- 金賞・(社)全国技能士会連合会会長賞 一名
- 金賞・岡山県職業能力開発協会会長賞 一名
- 金賞・岡山市市長賞 一名
- 金賞・(社)全日本印章業協会会長賞 一名
- 金賞・全日本印章業組合連合会会長賞 一名
- 金賞・全国印章技能士会連合会会長賞 一名
- 金賞・中国印章業連盟会長賞 一名

- 金賞・全国印刷用品商工連合会会長賞 一名
- 金賞・全日本ゴム印工業組合連合会会長賞 一名
- 金賞・株式会社ゲンダイ出版賞 一名
- 銀賞・銅賞・褒状・入選・(各部)

大臣賞はじめ各賞は出品点数、作品の良否により、審査員全員が判断し決定する。
過去を含め三部門で各部門の最高賞を取り、
得点が5点になれば、次回出品委嘱(無料)
とし、その次の回からは永久審査員とする。
得点の基準は、大臣賞、宮司賞は2点。
各部門の最高賞は1点。大臣賞、宮司賞、
受賞者は次回無鑑査(有料)とし1点。

審査員

永井裕公(東北) 田淵真司(関東) 南 外志明(北陸) 福田瑞峯(近畿)
伊東龍州(関東) 古屋誠三(関東) 紀平有石(東海) 小峠育治(中国)
岩本博幸(関東) 國峯正美(関東) 大槻秀治(近畿) 橋本 明(四国)
田中義則(関東) 武井良雄(関東) 澤村汲古(近畿) 堀 憲二(九州)

(順不同)

大競技会役員

会 長 中島正一(社全印協会会長) 副会長 池田秀男(社全印協副会長)
副会長 山田静馬(全日印連会長) 総務委員長 有賀義彦(社全印協総務委員長)
副会長 上村利成(社全印協副会長) 技術委員長 前田昭男(社全印協技術委員長)
副会長 森田忠秀(社全印協副会長)
委 員 草野好司 委 員 権田和幸 委 員 持木秀彦
" 岡本竹弘 " 増澤かな " 奥村幸男
" 丹野靖郎

主催 (社)全日本印章業協会 後援 賀茂御祖神社(下鴨神社) 後援 岡 山 市
共催 全日本印章業組合連合会 " 岡 山 県 " 全国印章技能士会連合会
後援 経済産業省(予定) " 中央職業能力開発協会 " 全国印判用品商工連合会
" 厚生労働省(予定) " (社)全国技能士会連合会 " 全日本ゴム印工業組合連合会
" 文部科学省(予定) " 岡山県職業能力開発協会 " 株式会社ゲンダイ出版